

## 広島県呉市 ーお葬式と歴史探訪ー

呉市。有名な町ですがこれまで訪ねたことがありませんでした。

娘さんご家族のこの町に移り住まれていた笑顔良しのおばあちゃんがお亡くなりになりました。12月中旬に「この町でお葬式をしてやりたい・・・」と連絡がありました。葬儀の準備をして、翌日の朝、車で呉を目指しました。山崎から約4時間でお昼に到着。早々に枕経をあげ、一休みの後、夕方のお通夜になりました。

翌日はいよいよお送りする日です。葬儀・出棺・火葬場・収骨経・初七日と肅々と進み、おばあちゃんを前に逝かれたご主人の下、<sup>ささき</sup>霊山浄土へお送りしたのです。今回お参りされた方は日蓮宗の葬儀が初めてのようでした。

会館の女性が「このあたりは浄土真宗がほとんどです。今回担当して色々勉強になりました。枕経についてのお話、枕飾り、お通夜でのおばあちゃんへの感謝のお話と法華経の教え、葬儀、七日参りなど一つ一つ聞き入りました。風習としてなんとなくやっていることも意味があることを知りました。」

「良いお葬式でしたね。おばあちゃんを通じて色々教えてもらいました。」

「戒名の事について教えて下さい。私の家の位牌におばあちゃんと同じ大姉が付いているご先祖があります。浄土真宗ですが、チョット違う戒名と思うんです。』『浄土真宗では大姉号は付きませんね。ご先祖が他宗を信仰されていたのかもしれない。途中で改宗されたのでしょうか。』『そんなことがあるんですか?』『はい。多くあります。昔はお寺ごと改宗した例も多くありますよ。』

娘さんが「山崎から来て頂いて一番喜んでいるのがおばあちゃんです。ありがとうございました。』『晩年をこの呉で優しいご主人や明るいご家族の元で過ごされおばあちゃんは幸せな思いで旅立たれたと思います。ご苦労様でした。』

最後に、ひ孫の小学2年生のお嬢さんが「お寺さん。ありがとう。」とお礼を言ってくれました。

会場を後にして、せっかく呉に来たのだから歴史探訪の為にホテルを変わり、もう1泊して帰ることにしました。

ホテルの近くに大和ミュージアムがありました。戦艦大和は呉で建造されています。(武蔵は長崎三菱造船所)



呉が造船所として発展する歴史をはじめ、富国強兵の為に多くの軍艦の建造から大和にいたる資料が展示されていました。日本の造船技術がこの大戦艦に集約されていることを知りました。



戦後、呉は海上自衛隊の基地として存続しています。大和ミュージアムの前には鉄の鯨と称する潜水艦が展示されていました。

呉の町には海軍の文字・旭日旗が至る所に見られます。山崎とは違う文化があると感じたのです。その夜は街中のお店で一献。ほろ酔いでベッドに入りました。

翌朝は、江田島の海軍兵学校跡の自衛隊第1術科学校の見学の為に音戸瀬戸をわたり車を走らせました。10時前に守衛所に着き、受付を済ませて構内へ。

注意事項の説明を受け、構内見学に。



兵学校はほとんど空襲されていません。建校された当時の建物が残り、現在も海上自衛隊の幹部候補生の教育に使われているのです。

生徒が行き来する広い構内を広報の方の説明を受けながら見て回りました。「兵学校は東京芝浦で開校したのですが、すぐにこの江田島に移されました。若い血の気の多い青年ですから、東京で生徒が無茶苦茶したんです。これではいけないと辺鄙なこの島が選ばれました。近くに軍港がありますしね。この島には飲み屋さんへんぴが作られるのことも禁止されたんです。」

歴史に名を残した武将がこの兵学校を卒業し、戦争指揮をしたのです。多くの若い命が戦争で散りました。その遺品や遺書につい足が止まりました。

見学後、食堂で有名な海軍カレー600円を食べました。当時から味が変わっていないとのことでした。このカレーの味は兵学校生にとってご馳走だったのでしょ。

